

平成26年度事務事業評価シート		該当事業(評価対象外事業は基本情報のみ記載)		
		一般事務	公共建設事業	評価対象外事業
事務事業名	住宅管理一般事務			
予算科目	8 款 7 項 1 目			
総合計画での位置付け	住環境の整備と生活安全の確保～はつらつ住みよいまちづくり～ 住宅の整備			
所管課情報	担当課:	都市住宅課	電話番号(内線):	595
記入者情報	所属長:	森下 久史	担当責任者:	山内 祐一
事業の性格	法定事務			
実施期間	【開始年度】平成 17 年度 【開始年度】設定なし			
事業の対象	市営住宅の入居者及び近隣住民等			
根拠法令等	公営住宅法、伊予市営住宅管理条例等			
事業の目的	公共の資産である市営住宅を、良好な状態に保ち入居者が安全で安心して生活でき又、利便性の向上に努め、居住環境の維持及び管理を図る。			
事業の内容	市営住宅の一般的な管理・事務を行う。			
改善策の 具体的 取り組み (当初)	引き続き指定管理者制度導入に向けた改善検討を行なう。			
改善策の 具体的 取り組み				

事業費及び財源内訳					
項 目		25年度決算	26年度予算	9月末の執行状況	26年度決算
事業費	直接事業費	2,848	2,045	814	1,884
	人件費	4,067	3,977	1,988	3,827
	合計	0	6,022	2,802	5,711
人件費 内訳	人工数	0.50	0.50	0.25	0.50
	人件費単価	8,135	7,954	7,954	7,654
	補助事業人件費	0	0	0	0
	人件費	4,067	3,977	1,988	3,827
財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0
	県支出金	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0
	その他	2,848	2,045	814	1,884
	一般財源	4,067	3,977	1,988	3,827

事業活動の実績(活動指標)					
項目	単位	25年度実績	26年度予定	9月末の実績	26年度実績
実施事業費	千円	2848	2045	814	1884

向こう5年間の直接事業費の推移						
年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	5年間の実績
	2,500	2,500	2,500	0	0	7,500

成果指標				
成果指標	実施事業費÷予定事業費			
指標設定の考え方	適切な住宅行政の事務執行を把握する。			
区分年度	25年度	26年度	27年度	
目標	100	100	0	0
実績	94	92	0	0

自己評価				
自己評価 (担当責任者)	妥当性	目的の妥当性	3	C
		市民ニーズへの対応	3	
		市の関与の妥当性	3	
	有効性	事業の効果	3	C
		成果向上の可能性	3	
		施策への貢献度	3	
	効率性	手段の最適性	3	C
		コスト効率	3	
		受益者負担の適正	3	
課題認識	愛媛県、松山市が実施している、指定管理者制度の導入に向けて、スケジュール、市営住宅管理条例等見直しが必要な事項の洗い出し等早急に行い、平成29年度事業の導入に向けて、引き続き検討を行って行きたい。			

一次評価				
一次評価 (所属長)	妥当性	目的の妥当性	4	C
		市民ニーズへの対応	4	
		市の関与の妥当性	3	
	有効性	事業の効果	4	B
		成果向上の可能性	4	
		施策への貢献度	3	
	効率性	手段の最適性	3	C
		コスト効率	3	
		受益者負担の適正	3	
課題認識	「公営住宅」をより効果的、効率的に運営するためには、指定管理者制度を含めたあらゆる方法を調査し、比較検討する必要がある。管理運営方法の決定にあたっては下記事例を参考に比較しなければならない。・施設を運営するために導入できる、あらゆる方法を照査すること。・あらゆる方法について長所と短所を調べ、比較検討すること。・検討に当たっては、特定の制度ありきでの検討は行わないこと。・望ましい施設運営方法は施設によって異なると考えられるから、全てについて比較検討することが望ましいこと。これらのことにより、より望ましい運営が期待できる方法を選択する必要がある。			

二次評価	
二次評価 (所属部長)	一次評価結果のとおり事業継続と判断するが、以下の課題を新たに追加する。
意見、課題	市営住宅の指定管理者制度への移行も喫緊の課題であるが、現時においては直営であることを念頭におき、次の事項の対応を特に図り適切な管理に務めなければならない。・迷惑行為等を行い共同生活の維持を阻害している者の対応・入居者の入居状況の把握及び指導・滞納整理

行政評価委員会の答申

外部評価
(行政評価委員会)

経営者会議の最終判断

事業の方向性

下記の点を見直しの上、継続する。

意見、課題

二次評価の内容を踏まえ見直すこと。